

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101188
法人名	医療法人 仁生会
事業所名	グループホーム 赤とんぼ
訪問調査日	平成21年3月17日
評価確定日	平成21年6月9日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。  
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]  
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]  
確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]  
「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
家 族 = 家族に限定しています。  
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970101188		
法人名	医療法人 仁生会		
事業所名	グループホーム 赤とんぼ		
所在地 (電話番号)	高知県高知市万々397 (電話)088-822-1785		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月17日	評価確定日	平成21年6月9日

## 【情報提供票より】(21年2月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	7, 26人

## (2)建物概要

建物形態	併設 / <input checked="" type="checkbox"/> 単独	新築 / <input checked="" type="checkbox"/> 改築
建物構造	軽量鉄骨 造り	
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分	

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000~33,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有( ) 円	<input checked="" type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1	3 名	要介護2	1 名			
要介護3	3 名	要介護4	2 名			
要介護5	0 名	要支援2	名			
年齢	平均	82.6 歳	最低	63 歳	最高	92 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	細木病院 ・ 細木ユニティ病院 ・ 岡林歯科医院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅改修型であり、共用空間はやや手狭な感はあるが、各居室はゆったりとして、個人の馴染みの家具、調度品を持ち込み、利用者一人ひとりの暮らしが垣間見える。二階への階段は勾配が急で幅も狭く、慣れているとはいえ配慮が必要である。入浴は希望によって夜間も利用できるなど柔軟な対応がみられる。食事の支援では、利用者と話合っ、献立から食材の買出し、調理、後片付けまで一連の作業の中で、出来ることに参加してもらっており、献立も多彩で薄味、盛り付けにも配慮が見られる。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価を受けて、地域密着型の独自の理念の作成、行政との連携、終末期のケアについて、全職員で話し合い改善に取り組んでいるが、改善計画に沿った経過や進捗状況等を具体的に記載し、職員で確認していくことを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が評価の意義を理解し、手分けをして取り組んでいる。
重点項目 ②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 業務報告、外部評価の報告、利用者に関わる要望等意見交換は活発に行われている。前回の評価の改善課題のうち、地域密着型の独自の理念のについて意見をもらい、現在の理念が出来上がっている。
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会では不安、苦情、要望など、家族間で何でも話合える場があり、重度化や看取りについての問題、職員の異動に対する意見、居室についての希望などが出されている。事業所では、最善の方法を模索し運営面に反映していくよう努めている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会の会費を、利用者と一緒に集金したり、清掃、ごみ出し等も地域と一体となって活動しており、散歩の際出会った人との挨拶を心がけ、地域の商店に毎日のように出かけるなど接点を持ち、利用者が一人で外出しているのを見かけると、連絡があるなど協力が得られている。地域の小学校生との交流もある。今後、事業所の避難訓練に地域住民の参加、協力を得られる働きかけを期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 前回の外部評価を受けて、地域との触れ合いを大切にする、独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎月の職員会で確認し、意思統一を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 理念に掲げた「その人らしい暮らしの支援」を常に念頭に置き、利用者の意見を尊重し、行動を見守るなど、日々の支援の場面で反映している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 町内会費の集金当番に利用者も一緒に回ったり、小学生との学校行事を含めた日頃の交流、一斉清掃、リサイクル活動にも参加するなど、地域との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 評価の意義や活用方法について全職員が理解し、自己評価の作成にあたって、全職員で話し合い、その結果を管理者がまとめ、再度確認している。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価の後、課題について全職員で話し合い、改善計画シートを作成しているが、実施した経過が見えない。	○	見出された課題について、改善計画を立て、取り組みの経過が分かるように取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所からの報告事項や参加メンバーからの提案など、双方向的な会議の運営がされているが、意見交換の内容等について具体的に記録をすることが望まれる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>会議に報告し、課題について積極的に意見を出し合い、改善策を見出すなど取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>介護の困難事例やサービスの質の向上について、生活福祉課、介護保健課、包括支援センター職員等に実情を伝え相談するなど、連携に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族の来訪は週1回～2、3カ月に1回程度と差があるが、機会をとらえて近況の報告や話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真などで伝えている。</p> <p>毎月グループホーム便りを送付する際、個人の写真や職員から家族宛の手紙を同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>出納帳のコピー、領収書の原本を毎月送付し、事業所にもその控えを保管している。出納帳に家族の確認印は見られないので、来訪の際には確認印又はサインをもらうことが望まれる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族会では自主的に話合ってもらい、会長から内容の報告や申し出がある。家族間で率直かつ気軽に話し合いが出来る仕組みとなっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>苦情や要望が出た場合は、事業所でき話し合い、運営に反映させている。(職員異動の件、居室に関わること、重度化対応など)</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>馴染みの職員と落ち着いた暮らしができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>異動の際には約1カ月の間、交代職員プラス一人の二人体制とし、スムーズな移行と利用者に影響のない配慮が行われている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>研修情報は閲覧方式で全職員に周知し、全職員が平等に参加できる機会を与えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>職員会や随時報告会を開き、全職員に研修内容が周知できるよう取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>全国、県内の同業者ネットワークに加入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>西部地域グループホーム連絡会を2カ月毎に開催し、意見交換や情報交換を行い、サービスの質の向上に繋げている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人、家族の意向を確認するとともに、同法人のデイサービスやショートステイの利用者もあり、担当のケアマネから情報を入手し確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人、家族に数回来訪してもらい、おやつやお茶などを共にして馴染める工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>事業所内で管理者、ケアマネが面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>食事作りでは、本人の出来ること、やってきたことを尊重し、一緒に作業を行っている。また散歩の際には「行き方が分からなくなった」などと利用者に教わる場面を作り出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>職員は、利用者と共に暮らす中で、一人ひとりの思いを理解し、喜怒哀楽を共有し、支えあう関係を築いている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>多様な側面からの情報収集・分析を行い、その人の生活スタイルを大切にしながら暮らしを支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>コミュニケーションが困難な場合は、本人の行動や表情から意向を推測し、対応に努めている。また、家族からの要望などは記録に残しケアに繋げている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>これまでの入浴回数等の習慣や身体状況による食事への配慮など、本人や家族から得られた意見、要望を介護計画に反映し、本人の快適な暮らしに繋げている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>毎月の職員会をはじめ、必要に応じて随時意見交換やカンファレンスを行い、モニタリングは2カ月に一回行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>短期は3カ月毎、長期は6カ月毎に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>心身の状態、必要に応じて随時見直しを行っている。退院時には1カ月の期間設定で経過をみている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>看護師による対応のほか、かかりつけ医の往診もあり、安心して生活が継続できている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>基本的に家族の対応としているが、家族の要望によっては事業所でも柔軟に対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>利用者は、これまでの主治医に引き続き受診できる支援が来ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>主治医に受診結果表を作成してもらい、状態に応じて注意事項の記載もあるので、正確な情報の共有ができています。事業所対応の際は、受診結果について家族に電話で連絡している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>対応方針を定めており、随時、家族や医療関係者で話し合える体制が出来ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。</p> <p>終末期を迎えた場合、母体法人の医療機関と連携し、家族等も納得して最期を迎えられるよう取り組んでいる。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>日々の介護の場面で、一人ひとりに、穏やかなさりげない言葉遣いで対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>職員会でプライバシーの確保について話し合い、徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している  利用者の希望を尊重し、外出、散歩、買い物等に柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。  食事、入浴、起床など基本的なスケジュールはあるが、本人のペースや意向を大切に支援をしている。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  献立を利用者と話し合い、一緒に食材を買いに出かけたり、調理や食器洗いも出来ることをするなど、利用者の意志や気持ちを大切に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  各テーブルに1人職員を配置して、見守りながら同じ食事を食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  毎日の入浴や夜間浴(6時～7時30分)ができる体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  昼夜の時間帯を問わず、介助者を交代したり、散歩などで気分の転換を図った後、声掛けの方法も工夫するなど、入浴支援を行っている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  利用者の生活歴等を把握し、趣味や出来ることから、楽しみや役割などを導く場面を作っている。(すのこ作り、書店通い、絵や文字を書く、折り紙、畑仕事など) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  趣味を楽しむ用具や遊具(将棋、オセロ、ぬりえの下絵など)を用意し、利用者の経験や趣味を理解し、一人ひとりに合った楽しみや気晴らしの支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近くの商店には、食材の買出しも含めて週に1～2回出かけており、馴染みの関係が出来ている。また、家族同伴で美容院などに外出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車椅子等を利用し、戸外へでることを積極的にやっている。 車椅子で、毎日のように散歩する人や週1回程度の人など、利用者の状況に応じて外出支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 利用者の希望も聞き、家族の参加も呼び掛けバスで遠出するなど、積極的な外出支援に取り組んでいる。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出習慣のある利用者の行動パターン等を把握し、職員がさりげなく同行するなど対応している。玄関には、感知センサーを設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 日頃から地域住民との交流に配慮しており、利用者を見かけた時は連絡をもらえる関係を築いている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 避難訓練は事業所内では行われているが、地域住民の協力を得ての実施はしていない。運営推進会議で協力、参加してもらうよう、現在検討中である。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料、薬手帳、照明器具、排泄用品などの備品を保管している。	○	災害は何時、どの時間帯に起きるかわからないため、いざという時に慌てないためにも、地域住民に参加協力を呼びかけ、避難訓練を実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事や水分の摂取状況を毎日チェックしている。なお、過去1年間の個別記録や把握の結果から、記録の簡素化を図り、現在、水分1300ml以下について記録し、食事を完食した場合は記録をしていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>肉、魚、酢のものなど、個別の嗜好を考えながら調理法を工夫し、栄養バランスに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>母体法人の管理栄養士に年1回チェックしてもらっている。また、抜き打ちのチェックもあり、専門的なアドバイスをもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>住宅改修型であり、やや手狭であるが、9人で暮らすフロア兼食堂として、水槽には金魚が泳ぎ、使い慣れたソファや棚のアルバムなど、親しみのある家庭的な空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>季節の花や雛壇が飾られ、屋内から見える四季の移ろい風景とマッチしている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>自作のぬり絵や筆字を壁に貼り、籐椅子、テーブル、テレビ等の配置や家族写真、ラジカセ、化粧品など、利用者の個別性のある居室となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族の協力と職員のアイデアと工夫をこらし、居心地良い居室作りに配慮している。</p>		